

## 4. 活動レポート

### 4-1.平成18年度 研修見学会

#### 首都圏環境計量協議会合同研修見学会を振り返って

千環協・企画委員長  
堀内 達雄

今年の研修見学会は二つの点で例年と異なっていました。一つは、実施時期を9月に変更したこと。今年は、千環協創立 30 周年に当たり7月に記念事業を行うことになったためです。もう一つは、神環協が主催する首都圏環境計量協議会としての合同企画になったことです。

首都圏環協連の窓口である升水さん(神環協)と連絡を取りながら計画を進め、9月22日(金)に実施し、①清水建設(株)の土壌洗浄プラント → ②キリンビアビレッジ → ③ビアポート(昼食) → ④保土ヶ谷区今井のごみ山見学 というコースをそれぞれで仕立てた2台のバスで回ることになりました。懇親を持つのは、キリンビアビレッジと付属レストランという多少変則の合同企画となりました。

当初、この企画は例年のごとく千環協単独の研修見学会として考えたものだったのですが、首都圏環協連絡委員会の中で合同企画として実施することになりました。人数や場所など、単独企画の場合と条件が違っているので、多少のミスマッチが発生したのは致しかたなかったと反省しながら考えております。合同研修見学会は、これまでも時々催されていて、違う県の事業所の人達と触れ合える貴重な機会となっておりました。参加人数も多くなることから、大型バスを仕立てて満席状態で賑やかに出かける楽しい企画であることが多かった様です。しかし、今年の場合は、見学先に選んだ清水建設さんの土壌洗浄プラントへの出入りには道路が狭いから大型バスでは無理、更に設備の大きさから一度に見学できる人数は25人までということから、2台の中型バスに分乗して訪問することになりました。川崎駅に集合する神環協、埼環協主体のグループと千葉駅に集合する千環協主体のグループです。普段とは違った人達と触れ合えるという合同企画の意味合いは、この様なミスマッチが減殺してしまいましたが、一方では、三 K 職場を支える屈強な男たちが無口な中に見せてくれた細やかな優しさに触れることができたのは、収穫であったのかなと密かに考えております。

当日は天気にも恵まれ、千葉駅前に集合したグループは8時過ぎに出発、川崎駅前で4名の会員を拾って総勢28名で10時には川崎区扇町にある土壌洗浄プラントに到着しました。

このとき、川崎駅組の 24 名は全体説明を受けて現場見学に出かけるところでした。清水建設(株)には常設型の他にオンサイト(現場設置)型がありますが、見学に適したオンサイト型は 9 月 10 日までしか稼動していないため、当日は常設型を見せて頂きました。



(常設型 土壌洗浄プラントの概観)



(重力式分離システムの概観)

ここはオランダから技術導入して2002年から稼動を始めた設備です。搬入された汚染土壌は、物理的な篩別、水洗浄によって分級され、汚染物質と土壌がひきはがされた後、界面活性剤を用いた浮遊洗浄などを通して汚染物質を濃縮した部分と処理済土壌にわけて、それぞれが脱水、回収されます。水は設備内で再利用されますが、回収された土壌などと共に系外にでてしまう為に清浄な水の追加が必要であり、汚水は全く排出されないそうです。



(泡浮遊式分離システム)



(泡浮遊式分離システム)

処理済土壌は分析して安全性が確認された後、埋め戻しに再利用されます。濃縮された汚染物質は最初の 1~2 割に減少し場外に搬出され、セメント原料などとして処分されます。汚染土壌の処理費用は1~1.6 万円/トン程度になるそうです。設備は年間 10 ヶ月の稼動で、2 ヶ月間はメンテナンス期間になる程消耗が激しく、泥水のため汚れきって見えま

したが、小ぶりながら随所に独特な工夫がされた設備は頑丈で機能性を追及された結果であり、むしろ洗練された感じさえ受けました。特筆されることは清水建設さんの受け入れ対応でした。異例とも言える30分の時差を持たせた2部制のスケジュール(全体講義と設備見学、並びに質問時間)を受け入れて下さっただけでなく、泥水が跳ねても大丈夫なオーバーオール  
の防塵服やゴム長靴を人数分用意して、万全の体制を敷いて下さいました。プラントの説明をして頂いた方によると、土壌という汚れものを扱う事業所なのに、その汚れ物が更に汚れているということで、ご近所さんには大変に気を使っているということでした。見学のアレンジをして下さいました営業部菊田主任と現場説明をして頂いた方々に感謝いたします。

麒麟横浜ビアビレッジ到着は渋滞のため多少遅れましたが、参加者全員が揃ってビールの製造工程を見学することができました。見学終了後、製造工場ならではの出来立てビールの試飲コーナーがありました。おいしく飲む注ぎ方など、能書きは幾つか解説されましたが、基本的に工場で飲むビールはうまい。TV のコマーシャルではないが「うまい」という言葉が出てしまう。恐らく、参加者の多くはこれを目的に來たのでしょうか、言葉少なめで暫くは動きそうにない様子でした。昼食は併設のビアポートで、名物の炭板焼きを頂きました。



(千環協会の集合写真)

コースの中で唯一全員が顔を会わせて会長のあいさつを拝聴し、合同研修見学会らしく締めができ、最後には記念写真を撮って証拠資料としました。

最後の場所、今井のゴミ集積場はこんな所にとびっくりするような場所に30数年もかけて積み上げられたそびえ立つ山です。最近になって業者が夜逃げしたため、頂上の4台の重機ごと放置された状態になっています。



全体を見渡すことができる場所は限られていて、酷暑の中を2回も下見するほど力を入れていたのですが、アルコールで麻酔された頭脳から満腹の胃へ血液が奪われた状況では、敢えて、自身の足と目でゴミを確認するほどの勇気を引き出すことは出来なかったようです。遠目の観察に留めて一路千葉へと帰路に着きました。

今回の見学では、汚れを真面目に取り除く努力をしている人達の一方に、汚れを放置して手が付けられない状況を作り出している人がいるという対比の面白さも目論見の中にあっただのですが殆ど外れでした。これに懲りずに、今後も皆が参加でき楽しめる研修見学会に出来るようがんばりますので、皆様よろしく願いいたします。また、お手伝い頂きました多くの方々に感謝いたします。

### 首都圏研修見学会参加者リスト

#### (社)日本環境測定分析協会

No.	会社名	氏名
1	(社)日本環境測定分析協会	岡崎 成美

(参加人員1名)

#### 千葉県環境計量協会

No.	会社名	氏名	No.	会社名	氏名
1	習和産業(株)	津上 昌平	15	(株)住化分析センター	奥村 貴史
2		吉野 昭仁	16		羽濑 博臣
3		安田 喜孝	17		大山 正幸
4		長谷川 光枝	18	(株)ユーベック	春名 由佳理
5		下里 友則	19		中村 雪枝
6	(株)太平洋コンサルタント	丸田 俊久	20	ヨシザワ(株) 柏研究所	結城 清崇
7		石渡 智恵美	21	東電環境エンジニアリング(株)	松本 崇
8		小西 蘭	22		篠塚 竜哉

